

平成29年度研究テーマ **確かな学力を支える読解力の育成****大津町小中学校共通実践事項**

- (1)話し手に体を向けて聞く (2)「めあて」と「まとめ」の明示  
 (3)家庭学習の習慣化 (4)県学力調査に向けた課題克服プリントの計画的活

10月31日(火)  
 徳淵

**10月23日(月) 4年2組 算数 単元名「2けたでわるわり算の筆算」**

徳淵は25日(水)の事後研に参加していませんので、実際に検討された点と視点がずれるかもしれませんが、そこは見逃してください！

**1. 授業のポイント**

今回の授業で最も必要な知識・技能は「被除数、除数に同じ数をかけたり、同じ数でわったりしても、答えは同じになる」というわり算の性質でした。(これは、前時で学習しています)

$2400 \div 100 = 24$ $\begin{array}{cc} \uparrow \times 4 & \uparrow \times 4 \\ 600 \div 25 & \leftarrow \end{array}$ $\begin{array}{cc} \downarrow \div 5 & \downarrow \div 5 \\ 120 \div 5 = 24 & \end{array}$	<p><b>わり算の性質</b></p> <p>最初に立てた式として…</p>
---	---

本時で一番大きな壁は「 $25 \times 4 = 100$ 」の利用でした。(中学年以上の担任経験のある先生方はわかると思いますが、「 $25 \times 4 = 100$ 」「 $100 \div 25 = 4$ 」の定着への道は長いものです…。) 後述の課題で記載しています。

**2. 成果と課題****成果****① 目的をもたせて、本時の課題に向かわせる**

今回の授業のスタートで必ずおさえるべき点は「わり算の性質をなぜ使うか」です。内田先生の授業では、導入場面でフラッシュカードを用い、その中に「 $1500 \div 250$ 」を混ぜたことで、この計算は「簡単ではない」ことを確認しました。その後、「どうにか簡単にできないかなあ」という内田先生のつぶやきに対して、子どもたちから「性質を使えばいい!!」という発言が出てきました。

「 $1500 \div 250$ 」は難しい → どうにか簡単にできないか? → わり算の性質を使えばいい!

この思考過程を経ることが私自身は重要だと思いますし、いかに子どもの発言から出てくるかが重要です。さすが、内田先生でした。

## ② 適用題の流し方

内田先生の授業では、適用題について次のような学習形態がとられました。

個人 → 同じ問題を班で検討（教え合う） → 解答の確認 → もう一問を個人で  
様々な学習形態をつなぐことで、誰かに尋ねたり、誰かにアドバイスしたりできる環境を作られました。時間確保の難しさはありますが、先生方も取り入れてみてはいかがでしょうか？

## 課題

### ① 簡単な式とは何か？

簡単な式にするために、わり算の性質を使う。では、簡単な式とはどんな式でしょうか。今回の授業では、子どもたちは除数、被除数を小さくしようという意識が先行していたように思います。数を小さくしようという思考と「 $25 \times 4 = 100$ 」を用いる思考は結びつきません。そこが、本時で課題になったところです。（おそらく事後研でも検討課題に挙がったと思います）

簡単な式とは・・・①除数及び被除数が小さい（九九の範囲程度で処理したい）

②除数が10, 100, 1000,・・・である

他にもあるかもしれませんが、本時ではこの2点を子どもたちにおさえさせたかったと感じました。（見る立場だから、言えることですが・・・）

今回の授業の冒頭で感じたことは、「本時の課題を子どもたちが解けるようになるには」を考  
えつつ、「どんな学び方を子どもたちに経験させるか」を考えることも大切だと思いました。

前述のように「わり算の性質を使う！」という発言は子どもたちから出ました。きっと、内田先生が既習を生かすことが大切であることを日頃の授業で大切にされ、子どもたちに経験させられているからです。

いろいろな所の算数の研究会で、授業冒頭に授業者からの一方向的な本時の課題を解くために必要な知識・技能の復習の時間があります。（転ばぬ先の杖を子どもにも与えるような・・・）何をその時間に「教える」べきか。何を子どもから引き出すべきか。将来、未知の課題に出合った時の子どもたちのどんな姿を願うか。そのために本時でどんな部分を高めるか。それを考えることで、日々の授業の組み立て方も変わると感じました。

板書のこの部分はもっと別の表し方があったと思います。先生方なら、この授業の流し方を生かした上で、どのように書かれますか？

